

第2回 自由が丘駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成15年2月5日(水) 19:00~21:00

場所：自由が丘住区センター 第一会議室

< 凡例 > 参加者からの意見 ・ 目黒区からの意見

1. 開会挨拶(省略)
2. 自由が丘駅周辺地区における問題・課題について説明・意見交換(第1回懇談会を踏まえて)
3. 問題・課題に対する対策案に関する意見交換

(1) 歩道の拡幅について

前回の話を踏まえ、街を歩いてみた。道路は駐車車両でいっぱいであった。歩道を拡幅したら余計に駐車車両が増えるのではないか。

車道幅員を減らして、その分歩道を広げれば駐車スペースがなくなるので、路上駐車はできなくなるのではないか。

歩道を拡幅した場合、放置自転車の増加等、有効に使用するの難しい。商店、住区住民、鉄道管理者との協力が必要である。

渋谷で行われた路上荷捌きの整序化と違法駐車防止を参考にすればどうか。

(2) 事業計画について

H22 までとは言わず、できることからまず取り組んでほしい。

電柱の地中化や、電柱・電線をこれ以上増やさない区域等、設定すればどうか。

H22 までとの期限を意識・制約すべきでない。

- ・ 期限を区切り集中的、優先的に実施することが狙いと理解している。
ソフト的対策として歩行者天国を土曜日を行うのはどうか。
- ・ H22 までに実現可能な場所はカトリア通りの一部区間程度と考えている。したがって、主要経路は住民の方の利用に重点を置き、期限にとらわれることなく整備していく経路とする。

(3) 利害調整について

TMO で同様な問題に取り組んでいるが、ここで話し合った問題は決まってしまうことなのか。ブルバール街の歩道を広げる案は、関係者の意見等を聞いてから決めてもらいたい。

利害対立を誰が調整するのか。

TMO と区と同じことを目的とするものが2つできてしまう。

- ・ 交通バリアフリー法精神では、区が協議会等の結果を踏まえて基本計画を作り、他事業者と一体的に街のバリアフリーを進めていくことである。
- ・ TMO と懇談会とは出された意見に食い違いはあるが、それは調整していきたい。

(4) 駅周辺の整備について

以前駅のビル化、モール化の計画の話を聞いたが、もし実施されるのであれば地下に駐車場、駐輪場をつくればどうか。

駅のエスカレータ、エレベータについて、駅の利用状況を考慮した設計にしてほしい。

- ・ エレベータは現在の改札口付近を検討している。交番付近が最適だが交番をどうするか等、未だ検討中である。
- ・ エスカレータは、階段の斜度、距離、工事の安全面等を考えると難しい。
- ・ トイレについても要求は出されている。

(5) 特定経路等の設定について

基本構想における重点整備地区、特定経路のルート設定について議論する必要がある。

重点整備地区のエリア設定をもっと広げてほしい。

カトリア通り等は、構造上勾配がきつく負担が大きいため、そういう部分を特定経路に設定してほしい。

商店街以外にも整備が必要な所は多いはず。

来外者を考えるよりも住民のことを考えてほしい。

カトリア通りは都市計画道路であるので、その背景から特定経路に選定されたのではと、疑わざるを得ない。

わかくさ通り、つばき通りは狭いのに車が良く通る。カトリア通りが整備されれば、減るかもしれない。

(6) 放置自転車について

自転車を止めづらい雰囲気作りが大切で、その為には商店街等関係者の協力が必要。

(7) その他

項目ごとに時系列に計画・案をまとめて示してほしい。

4. 今後の予定について

- ・ 次回は3月13日(木) 19:00~21:00
- ・ 自由が丘住区センター 第一会議室

5. 閉会挨拶

- ・ 鉄道事業者、世田谷区等へ懇談会の通知を行い、参加を呼びかける予定である。

以上